

府身協

発行者

一般財団法人
大阪府身体障害者福祉協会
会長 中井悌治

〒543-0072
大阪市天王寺区生玉前町5-33
大阪府障害者社会参加促進
センター内
TEL 06-6771-3131
FAX 06-6771-3178
<http://fushinkyo.or.jp/>

エスカレーターの歩行禁止について

■誤ったマナー

地下鉄等の駅構内のエスカレーターでは、歩いて追い越す人のために片側を空けておくことが「誤ったマナー」として定着しています。

エスカレーターを観察していると、立つて乗る側には長い行列が出来ているのに、追い越す側には人がいないといったことがよくあります。

そのため、エスカレーターはステップに立つて、ベルトに捕まつて乗ることが本当のルールです。しかし、「誤ったマナー」により、エスカレーターを駆け抜ける人の肩や荷物が触れて、転んだりした事故をテレビや新聞報道で、最近よく見かけるようになりました。

【京阪ブロック】
とき 平成30年10月21日(日)
ところ 門真市立総合体育館
主管 門真市

でも、追い越す側を塞いで歩かないでいると、「非常識な人」として文句を言われたり、急き立てられたりすることがあります。

次のとおり各ブロックにおいて開催されます。

【スポーツ・レクリエーション大会】

に危険な状況です。ベルトに捕まるとすると反対側のステップに立たなければなりません。また、介助の必要な障害者には、介助者が同じステップに横に並んで乗る必要があります。

しかしながら、このような事情でも、追い越す側を塞いで歩かないでいると、「非常識な人」として文句を言われたり、急き立てられたりすることがあります。

【大阪府知事への要望書の提出】

このようない現状を踏まえ、交通事業者においてもポスターや放送でエスカレーター内歩行禁止の注意喚起を行ってはいますが、効果が上がっているとは言い難い状況にあります。

このため、大阪府身体障害者福祉協会では、平成30年5月18日付で大阪府知事に対し、ユニバーサルデザインの街づくりを進める大

■危険なエスカレーター

通常のエスカレーターは、勾配が階段よりも急で、ステップの横幅は狭く、片側をすり抜けることを想定した構造にはなっていません

エスカレーターには難しい片側空け

エスカレーターの乗り位置を左二人ずつ並んで乗るのが、効率的な乗り方です。

エスカレーターを駆け抜ける人の肩や荷物が触れて、転んだりした事故をテレビや新聞報道で、最近よく見かけるようになりました。

【阪南ブロック】
とき 平成30年10月20日(土)
ところ 岸和田市立中央体育館
主管 岸和田市

※詳細は、各主管市にお問い合わせください。



笑顔あふれる、あかみね

(河内長野市)

河南ブロック

家と連携し、障がい者福祉の向上を図っています。

河内長野市身体障害者福祉会の事務局を担っている障がい者福祉センター「あかみね」を紹介します。



また、地域の方への障がい者理解を啓発することを目的としたイベントを年二回開催して、毎年多くの方に来場していただき、障がいのある方・ない方に関わらず、幅広い交流を行い、広く障がい者の理解の促進に大きな役割を担っています。

このように、様々な活動を行っていますが、地域社会では「あかみね」を利用されていない方が大勢います。そのため、行き場のない障がい者や重度の障がい者が地域で暮らし続けるための支援や高齢化する障がい者の受け入れを整えることが今日の課題です。地域社会で暮らすための支援の一つに「あかみね」を利用してもらい、「あかみね」に来て良かつたと思える施設づくりに日々努力しています。

「あかみね」は、河内長野市に居住する障がい者に対して、教室やクラブ、講習会を行っています。スポーツ系・文科系共に盛りだくさんの内容です。また、障がい者やその家族の様々な悩みや困りごとの相談にも応じています。医療や福祉のことだけでなく、生活一般のことを含め、関係機関や専門

白浜への社会見学 (泉南市)

阪南ブロック

3月11日（日）午前9時、寒さも和らぎ、春の訪れを感じる中、

バスは出発しました。バス内では会長の挨拶があり「朝、白浜へ社会見学に行つてくる。」と娘に話すと「旅行じゃないの」と怒られたと言う。その挨拶に、皆さんの笑いが漏れる中、バスは白浜へと向かいました。

トイレ休憩を一回はさみ、まず京都大学白浜水族館に到着。展示物は、すべて白浜周辺の生き物で、全長1メートルを超えるロウニンアジは迫力満点。マダイ・エイ・カサゴ・イセエビ・マダコ等の水槽室を見ると、人間の本能なのか、「美味しい」という声が聞こえてきました。

30分程度で見学を終え、三段壁へとバスは走ります。ここで昼食をすませ、徒步で三段壁洞窟へ行く。地下の洞窟へはエレベーターで36メートルを24秒の速さで降ります。洞窟は一周約200メートルあり、押し寄せる波しぶきは圧巻でした。周りを見ると、賑やかな笑い声のグループがありました。よく見ると我が福祉会の視覚部の会員とガイドさん達でした、リズムをとりながら「波がきたっ！」それっぽっしゃん」と、音を聞いての楽しみ方に感動を覚えました。

地上へ戻ると「足湯」がありました。ぬるくて皆さんには不評でした。三段壁をあとにすると白浜空港を経由し、次の「どれとれ

市場」へ。各自、思い思いの購買欲に目覚め、試食をしたり、お茶やソフトクリームに舌鼓、お土産を購入して一時間余り、どれとれ市場を楽しんで帰路へ。

平昌パラリンピックが開催されています。応援しましょう。今日はお疲れ様でした。」と閉めの挨拶があり、パラリンピックより一足先に今回の社会見学は無事に幕を閉じました。



日の不自由な人が暮らしやすい社会に！ (豊中市)

北摂ブロック

7月19日（木）豊中市すこやかプラザ多目的室にて「日の不自由な人が暮らしやすい社会に！」と

いうテーマで勉強会が開催されました。視覚障害は、全盲・弱視・ロービジョンなど見え方がさまざまあります。例えは光も感じない状態の人もいれば、ある程度の視機能はあるもののかなり見えていないため視覚以外の感覚を使って生活している人もいます。

この勉強会では、豊中市身体障害者福祉会視覚部会の会員たちが

パネリストとなり、それぞれの体験談や中途障害で視覚障害者と

変だと感じること、また、困っているとき、どのようにサポートしてほしいかなどをお話ししました。(公共交通機関で配慮してほしいこと・普段の生活で配慮してほしいこと・書類等渡される際に配慮してほしいことなど)

その後の体験会では、手元のもの指示の仕方や眼鏡(中心がみえるもの、中心がみえないもの)をかけてみて、当事者の見え方にについての体験をし、実際のサポートの仕方について、参加者全員で学んでいきました。

参加者の感想より

・自分が思うより日々の生活が難しいみたいで衝撃を受けた。視覚障害になられた時のショックの話を聞いて、とても想像できませんでした。

・便利は不便という言葉が印象的だった。

・視覚障害、とひとくくりにして考えるのではなく、視覚障害の種類の違いによって支援の仕方も変化する必要があることが分かった。

京阪ブロック

ユニバーサルマップ作り (四條畷市)

6月に四條畷駅近辺のユニバーサルマップを作つてはという提案があり、実行委員会形式で進行することにした。

オリパラまであと2年となり、

パラスポーツに関する情報量は大きくなり増えたが、障害者の自立と社会参加が進んだとは言い難い。ま

た、市民意識調査では少子高齢

東ブロック

野外活動訓練 (東大阪市)

7月8日に平成30年度東ブロック野外活動訓練を大阪城公園で、八尾市、柏原市、東大阪市で行つた。当日は、バス4台、95人が参加されました。前日まで台風が来て、早く通過しないかと思ひながら天候の様子を見守りました。

大阪城内の豊国神社前へのバス乗り入れには大阪城公園課の許可が必要なため、山下、田中会長がその準備に追われました。当日の朝は少し曇りで晴れるだろうの予想で参加しました。

駅版として市民の方々に配布し様々な障害があつても、自分が利用しやすいお店・施設かどうかが一目で分かるようにする。このマップの調査・作成・配布により、障害当事者、事業者、民、観光客、留学生等にとつても、やさしいまちづくりを実現するため頑張ります。



計報

府身協副会長として永年ご尽力いただきました竹川康文氏が9月4日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。



東大阪から1時間で到着し、早速豊國神社で記念写真を撮り、城内を午後3時まで自由散策。昼ごろから天候回復し、気温がどんどん上がりつてきて、観光客がどんどんどん詰めかけて特に中国のお客さんが多かったです。参加者は天守閣へ登る人、あるいは大阪城の濠を遊覧船で回る人など、結構皆さん楽しんでいました。気温も真夏の状態になり、3時には大阪城を後にしました。視覚障害の人からも「楽しかった」の返事がありました。

民謡・歌謡曲大会(予選会)

平成30年度府身協民謡・歌謡曲大会の予選会が、8月5日(日)ファインプラザ大阪において開催されました。

予選会には69人の「のど自慢」が参加し、詰めかけた大勢の観客を前に、応援者からの声援や盛大な拍手を受けて、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮した熱唱が続

き、1点差を競う高レベルの戦いが繰り広げられました。

審査の結果、得点上位の21人が見事予選を通過され、来る11月23日の福祉大会で栄冠をかけて競い合うことになります。福祉大会では、より一層磨きをかけた素晴らしい歌声が披露されることと期待されますので、皆さん奮って応援において下さい。

なお、予選会の模様は、府身協ホームページで紹介しています。

宿泊野外活動訓練

宿泊野外活動訓練が、9月2日(日)～3日(月)に16人が参加して実施されました。さわやかな秋晴れのもと、神鍋高原に向けて出発しました。最初の目的地は但馬の小京都と呼ばれ

る出石で、名物出石そばを堪能した後、出石城跡や辰鼓楼などの古い町並みを見て歩きました。

その後、世界的冒險家植村直己に関する遺品や記念品、写真、映像などが展示される「植村直己冒險館」を訪れ、その偉業に改めて感嘆した後、宿泊する神鍋温泉ブルーリッジホテルに到着しました。

ひと風呂浴びて、さっぱりした後の懇親会では、胸襟を開いて交流が行われ、会員の高齢化や会員数の減少といった各福祉会が頭を悩ませる共通の課題について、活発な情報交換が行われました。翌日は、余部鉄橋・空の駅に昨年新設された「余部クリスタルタワー」のエレベーターを使い、地上41mからの展望を楽しみました。その後、世界初の砂を素材にした彫刻作品を展示する「鳥取砂丘・砂の美術館」を訪れ、繊細で迫力の彫刻を間近で体感して楽しい一時を送りました。

今回は、冒険、鉄道技術、彫刻などバラエティに富んだ世界レベルのものを体感でき、有意義な野外活動訓練となりました。

ひろい読み

一日一日の人生論より

いかり、うらみ、ねたみの心が私たちにとつておそろしいのは、私たちの心を逆上させて、理非の区別をできなくさせるからだ。そして何よりもまず自分をみじめにしてしまうからだ。

「うらみはうらみによつてしづまることはないうらみをしててこそしずまる」(仏陀)

自分といい他人といつてみても、やがては移り変わり、ともにほろんでゆく、ともにはかない生命である。憎しみうらむことは無意味ではなかろうか。他人から憎しみうらましても、相手の心のつらさ、いじらしさに心をむけて、かえつていたわりの心で相手をつぶんでしょうね。そういう生きかたのなかに、ねたみ心を弱めうすめることをいっている。

生者必滅、会者定離(生きているものは必ず滅び、会ったものは離れるのが定めだ)ということが真理であるならば、私たちは一日しか生きられないつもりで、その日の日出会う人に自分の持つている善意のすべてを、顔つきや態度や言葉に表すことができるのだろう。

府身協からのお知らせ

- ・府身協グラウンドゴルフ大会 日時 平成30年11月4日(日)
場所 ファインプラザ大阪
- ※大会のため参加人数を調整することもあります。

・日身連近畿ブロック福祉大会

日時 平成30年11月20日(火)
場所 奈良県社会福祉総合センター

担当 東ブロック
会場 国際障害者交流センター

・大阪府身体障害者福祉大会

日時 平成30年11月23日(祝)
場所 八尾市身体障害者福祉ビッグ・アイ
主管 八尾市身体障害者福祉

・広報委員会

日時 平成30年12月6日(木)
場所 府身協事務室
※第43号の原稿締切りは、
11月30日(金)必着です。

・社会見学家族旅行
日時 平成30年12月9日(日)
場所 未定
(月)
※詳細は、決まり次第単位会にお知らせします。